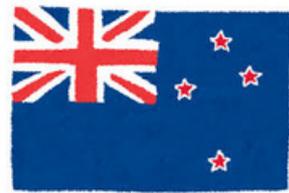


CIP Newsletter

ニュージーランド出身香取市国際交流員
花田・卓也・サミュエル (サム)

アオテアロアの先住民



先月、組合の新人歓迎会でニュージーランドの先住民「マオリ」や「ハカ」の踊りなどいろいろ聞かれたので、今回のニュースレターでマオリ人とその文化について紹介したいと思います！ *ニュージーランドはマオリ語で「アオテアロア」



*私の高校

出典: Catholic Cathedral College Approved Page

マオリは最近復興した！



National Māori flag. (2023, March 1) In Wikipedia

ニュージーランドは国際的な国として見られていますが、先住民族のマオリ族をあまりメディアで取り上げてないです。以前のニュースレターで紹介しましたが、ワイタンギー条約などの関係で、マオリ人が弾圧や差別にあつて、数十年も自分たちの文化や言語を披露することができませんでした。しかし、近年は言語や文化の復興が進み、現在では約90万人のマオリ族(ニュージーランドの人口の17.2%)が存在し、マオリ語をある程度話す人は約19万人いると言われています。

タトゥーを入れるのは重要な文化！



タトゥーはマオリ語で「タ・モコ」と呼ばれ、それぞれのデザインによって、家系や出身部族、権力などに大きく関係しています。昔、日本のアイヌや沖縄の人たちは、自分たちの文化を示すためにタトゥーを入れていたそうです。マオリが文化の活性化に成功したため、近年、アイヌの人々がマオリに興味を持っています。

海外でも愛されてるハカ



ラグビーワールドカップを見た方は知ってると思いますが、ニュージーランドのチームは試合の前に「ハカ」というマオリの伝統ウォーダンスを踊ります。「カ・マテ」というハカをいつも踊っています。「カ・マテ」ハカの歌詞を訳すと、「生きるかもしれない、生きるかもしれない、死ぬかもしれない、死ぬかもしれない」になります。このハカは、マオリの酋長が敵に襲われた後、死に対する生命の勝利を祝うために作りました。オールブラックスは常に相手のチームに勝つために戦っているので、このハカは適切だと思います。カ・マテのハカ以外にもたくさんあります。私の高校にも独自のハカがあり、入学式や卒業式などの行事で披露していました。興味がある方は、是非QRコードからご覧ください。



*私の高校のハカ

マオリ語と日本語が似てる!

マオリ語と日本語がどちらも発音記号の言語なので、似たような発音や言葉もあります!例えば「イカ」はマオリ語で魚という意味です。また、日本語で「満腹」という表示があり、マオリ語で「プク」はお腹という意味です。さらに、マオリ語でも外来語をよく使うので、日本語の発音に近いものも多くあります。(e.g. トマト)

英語: Storehouse 日本語: 蔵 マオリ語: クラ

英語: River 日本語: 川 マオリ語: アワ

英語: Shellfish/Shell of a Fish 日本語: 甲羅 マオリ語: コウウラ

英語: Clapping (Sound) 日本語: パチパチ マオリ語: パキパキ



鼻のキス???

日本ではお辞儀をして挨拶をしますが、マオリ文化では「ホンギ」と呼ばれる挨拶があり、2人で鼻を触れ合う挨拶です。これは、頭を近づけると同じ空気を吸っていることになり、団結の象徴とされるからです。

私が作ったものだよ!



気が合うね! 👍

2019年の調査では、1,400人以上のマオリ人が日本人と強いつながりを感じていると答えました。価値観、年長者への敬意、おもてなし、食習慣、上下関係など、多くの共通点があります。マオリ人じゃないけど、日本人とニュージーランド人のハーフとして、文化の共通点や温かいおもてなしを感じられます。

苔玉を作ってみた!

香取市に引っ越してきてから、いろいろな植物を育てようとしていますが、最近、もっと増やしたいなと思いました!思い出に残る体験をしたいと思い、ゴールデンウィークに香取生花店で開催された苔玉作りのワークショップに参加しました。

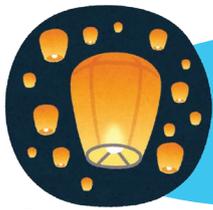
野球を見に行ったら!

ニュージーランドでは野球が盛んではないので、今まで見る機会がありませんでした。5月18日に千葉ロッテマリーンズと大阪オリックスバファローズの試合を見に行きました。最後まで見れなかったですが、本当に楽しくて貴重な経験でした。平日だったのに、人が多くてびっくりしました。また、暑かったのに、皆さんがずっと応援し続けてすごいと思いました。ニュージーランドのラグビーの試合ではこんなに声を出さないの、尊敬しました。夏には花火も上がるので、これからの試合も楽しみです。



FacebookのLittleEdoSawaraで香取市での生活や観光、ニュージーランドと日本の文化の違いなど多く発信しています。日本語でも文書を書いているので、見ていただけたら嬉しいです。これから他のことも挑戦してみたいと思っているので、英語・企画・お手伝いでも何かあれば、是非3階の商工観光課でお声掛けください!





コムローイ祭り
(ランタン祭り)

タイのこと…聞いてみタイ?

タイ出身香取市国際交流員 ティ (ラタナウィモンチャイ チャヤンクン)



2023年
6月号

実は・・・私は未来の543年先から来ました

タイのイメージといえば、「微笑みの国」「仏教の国」などが浮かぶでしょう。確かに、街を歩いていけば、住宅街にお寺があったり、お坊さんを見かけたりします。

タイと仏教の繋がり、スリランカから上座部仏教のお坊さんたちにより、今の「タイ」という国がまだできなかったインドシナ半島地域に2,300年ほど前伝来したと言われます。この2,000年あまりの間、ヒンドゥー教など他の信仰が混ざって、今でもタイのお寺に行くとガネーシャなどヒンドゥー教の神の像がたまに見かけられます。

タイで仏教が信仰され続けてきたのは、歴代国王が仏教徒であることが大きな理由だと思います。実際、タイ人の9割が仏教信者ですが、憲法には国教が定められていません。国が支援し、保護してくれるために仏教を国教として憲法に規定すべきという声もあれば、そうすることによって他の宗教に対する差別問題が起きてしまうのではないかと心配する声もあります。国教の定めはありませんが、憲法には「国王が仏教徒であり且つ（全ての）宗教の保護者」という条項はあります。



(左) ヒンドゥー教の神「ブラーマー」を祀るバンコクの有名なパワースポット「エラワン祠」
(中・右) お寺でよく見かけるヒンドゥー教の神話「ラーマーヤナ」の壁画や像

歴史の話になるとなんだか重く感じますね。重い話はここまでです！今回話したいのは仏教の影響を受けたタイ人の日常のことです。



タイのお寺は昔から集落の中心のような役目もあり、高いビルが多くなった今でも、ひっそりと佇んでいるお寺や街中に歩くお坊さんを見かけることは珍しいことではありません。街でお坊さんとすれ違う時は、まず自分が歩道の脇に止まって、お坊さんに道を譲ります。お坊さんが近くまで来たら、両手を胸辺りで合掌し、お坊さんが通り過ぎるまで親指が眉毛の間に当たるように一礼をしたまにするのがお坊さんに対する敬意の払い方の一つだと小学校で教わりました。今はそうする人はずいぶん減りましたが、私が子どもだった頃はよく見かけました。

宗派や国によって違ったところがあるかと思いますが、タイの上座部仏教のお坊さんは227戒の律を守らなければなりません。その中に、女性と触れてはいけないことも含まれています。よって、タイのお坊さんは日本のと違って、結婚することはできません。日本の電車やバスには、妊娠している方・体の不自由な方・お年寄りの方など席を必要とする人のために優先的に譲るよう「優先席」があります。タイの場合、お坊さんも対象になります。隣の席にもし女性が座っていたら、その女性が別の席に移動したり、別の男性と席を交換したりします。以前電車で座っているお坊さんの前に、立っている外国人女性がいました。距離がとても近いので、声をかけてみましたが、英語が通じなかったので、周りの人も身振り手振りでなんとか距離を取るようにはできました。タイ特有のことなので、知らないのは当然で、しょうがないです。タイに行った時、お坊さんとの距離に気を付けましょう。



BTS (タイの鉄道会社) 車内の優先席

次に、仏教由来のお祭りや祝日が多くあります。国民の祝日になった日が4つもあります。その中に、5つの日には、法律上（免税店以外）アルコール飲料の販売が禁止されています。ビールやワインなどのお酒以外、日本のみりんなどの酒類調味料も販売禁止になります。みりんがちょうど切れた日本料理店は困ってしまいますね。その日はお寺に行ったり、うちにある仏壇に花を供えたりします。



2012年6月4日、ウェーサーカ祭の日に行った実家近くのお寺
タイと一部の国はこの日（太陰暦6月最初の満月の日）を
お釈迦様の誕生・悟り・入滅とされた日

最後は、年号のことで。多くの国が「2022年、2023年」の西暦を用いている中、日本では「昭和、平成、令和」など、独自の年号を使っていますよね。タイを含め、お釈迦様が入滅した年を基準にした「仏歴」ともいう年号を使っている仏教が信仰されている一部の国があります。ただし、ほとんどの国が仏教由来の祝日を指定するためだけで、公的に使っている国はタイでしかないそうです。タイの仏歴は、お釈迦様が入滅した翌年の紀元前543年を元年としているため、数字だけを見れば、西暦より543年早いです。今年が（西暦）2023年なので、私の国・タイでは（仏歴）2566年になります。つまり、私は543年先から来たということです。



昨年2022年10月に、成田市にあるタイ寺院「ワットパクナム」で
雨安居の終えを祝うお祭りでも多くのタイ人が集まり、無料で料理やお菓子を配ったり、お金を寄付したりしました。

現在、SNSを通してタイ人に香取市のことを発信していますが、香取市のみなさんにタイのことを発信できていないと感じました。学校や市民の方々との異文化交流、タイのことでもなくとも在日外国人としての意見交換やディスカッションなど、この月刊のようにお互いのことが少しでも知り合える機会ができればうれしいです！お手伝いできる企画などがあれば、ぜひ商工観光課までお声がけください。

5月上旬、あやめ祭りが開催する前
あやめパークでサッパ舟に乗りました



5月27-28日に行われた
「あやめフェスティバル」の様子です



タイ人向けに香取市の情報をフェイスブックページ「Wonder Sawara เก็บดวงรอบซาวาระ : Chiba Katori City」にて発信しています。可能な限り日本語の文章も付けるようにするので、ぜひのぞいてみてください～（フォローをしていたただけたらうれしいです！）



FBページ →
QRコード

または、フェイスブックアプリ
で「Wonder Sawara」を検索



プロタイ ラタナウィモンチャイ チャヤンクン

タイ、バンコク出身。CHULALONGKORN大学教育学部美術科卒。ウェブデザイナーとして1年間勤めた後、語学のため2008年に初来日。日本語学校を経て専門学校のグラフィックデザイン科に進学。卒業後は帰国し、新潟県湯沢町や群馬県みなかみ町のタイ語版パンフレット作製の依頼を受け、両町がタイの旅行博に出展する際にも通訳としてお手伝いをしたことが日本観光に携わるきっかけとなった。2018年再来日し、タイ語版編集者としてインバウンドウェブメディア会社に入社。2021年9月からは香取市の国際交流員として勤めている。

